

第16回ヒューマニティ関連教科担当教員会議 議事録

日時：2022年3月11日（金）13:00～17:00

場所：WEB 会議

出席者：60 大学 76 名（世話人含む）

添付資料：（資料1）参加者名簿、（資料2）定例会会議進行スライド、（資料3）AI テキストマイニング解析結果、（資料4）事前・事後アンケート集計結果

（総合司会：金城学院大学 大嶋耐之）

1. 報告事項

(1) ヒューマニティ関連教科担当教員会議報告（資料1,2）

2022年3月11日の午後、オンラインにて76名（世話人7人含む）が参加して教員会議を開催した。テーマは「プロフェッショナルリズム教育」とし、SGDでは、「私の考える薬剤師のプロフェッショナルリズム」について、自由討論してもらい、その結果をWordに保存した。その後、宮田靖志先生（愛知医科大学）の教育講演「医療人としてのプロフェッショナルリズム」を行った。次に、2回目のSGDを1回目と同様に実施した。全体会では、1回目のSGDの討論と2回目のSGDの討論内容をAIテキストマイニングで解析し、1回目と2回目の討論内容の差について解析結果の変化を視覚化して報告した。また、事前アンケートと事後アンケートを比較し、この定例会が個人の行動変容にどのように影響を及ぼしたかを分析し、これらを含めて宮田先生より講評を得た。

(2) AIテキストマイニング解析結果（資料3）

AIテキストマイニングは、テキスト文書の内容を可視化するWebツールで、どの位頻繁にあるキーワードが出されたかをAI分析できる。1回目のSGDでは「実務実習」「患者」「省察」「医療」「倫理観」のスコアが高かった。教育講演後、2回目のSGDでは「実務実習」「臨床」「患者」のほかに「IPE（他職種連携）」「薬学」という単語が話題に出たことがわかった。講演前と講演後では明らかに差が生じた。この解析結果は、更に解析する必要があるものの個人の考えに変容をもたらしたと推察する。

(3) 事前・事後アンケート集計結果（資料4）

2022年2月に担当教員に依頼した事前アンケート結果（回答数117）と、当日の会議終了時点で参加者に実施した定例会議後のアンケート結果（回答数76）の概要が報告された。事前と事後では回答対象者が異なるが、概ねプロフェッショナルリズムについての理解度が、明らかに向上している結果となった。また、「薬剤師のプロフェッショナルリズム教育を実施する自信があるか」の問いについては、会議後に自信がないという回答が減少しており、自分自身のプロフェッショナルリズムが変化したという回答が多く、会議が有意義であったことが伺われた。

2. 連絡事項

(1) 次年度予定

次年度定教員会議は、8月あるいは来年3月で開催予定（実施方法は未定）とし、開催場所は仙台（実行委員長 小嶋文良先生）とすることが報告された。

以上